

あけましておめでとうございます。

日頃より図書フロアをご利用いただきありがとうございます。本年もより良いサービスの充実を目指してまいりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

2023年は「卯(う)年」です。今年の干支である「ウサギ」にちなんだ本をご紹介します。



昔から用いられてきたウサギの「かたち」を「かわいい」以外の視点から見つめ、日本の伝統文化に触れる一冊です。



ウサギやカエルなど鳥獣戯画に描かれたユーモラスな動物たちの正体とは？謎の多い絵巻のヒミツに迫ります。



生物としてのウサギ、文学や芸術の中のウサギなど、ウサギに関する多種多様な事柄が詰め込まれた事典です。

年始のおすすめ本

お正月のごはんといえおせちでしょうか。昨年様々なおせちが販売されていますが、本来おせちとは、正月にいらっしゃる年神様に五穀豊穡や家内安全を願うため、縁起の良い料理を詰めてお供えるものでした。今年も良い1年になりますように、縁起の良いものを集めた本をご紹介します。

『吉祥の図案』 河原崎 奨堂 著 芸艸堂 2011年

『郷土玩具 さんまい』 瀬川 信太郎 著 淡交社 2020年

1月の展示情報 ※展示情報は変更する場合がございます。

千代田区観光協会コラボ展示 『ちよだ歴史さんぽMAP』からみる千代田のまち 第1弾 (1/4~2/28) NEW!

千代田区観光協会が発行しているパンフレット『ちよだ歴史さんぽMAP』(全4シリーズ)の「①江戸城とお堀めぐり」とのコラボ展示です。見跡跡や大名屋敷跡など江戸時代の名残が数多く残る千代田区。その歴史を学び、当時の町並みに思いを馳せながら千代田の街を散策しませんか？

文化財企画展 『龍星閣がつないだ夢二の心』関連展示 (～2/28) NEW!

1月7日から開催の企画展にあわせて、竹久夢二の作品集や人となりがわかる資料を中心に、大正時代に流行したアール・デコなどのデザイン、同時代の挿絵画家、龍星閣にゆかりのある人々に関する資料をご紹介します。

日比谷カレッジ 『一時をかけて、映画音楽の歴史の旅へー タランティーノに渋谷系、90年代サントラ事情を考える』関連展示 (～2/17) NEW!

歴史的に映画と映画音楽は世相や文化を反映してきました。その中でも90年代はインディーズ文化が花開き、渋谷を中心とした独自のカルチャーの発展が、様々な影響を与えました。そんな世紀末のサントラ事情を案内する「時をかけて、映画音楽歴史の旅へー タランティーノに渋谷系、90年代サントラ事情を考える」カレッジ関連展示です。

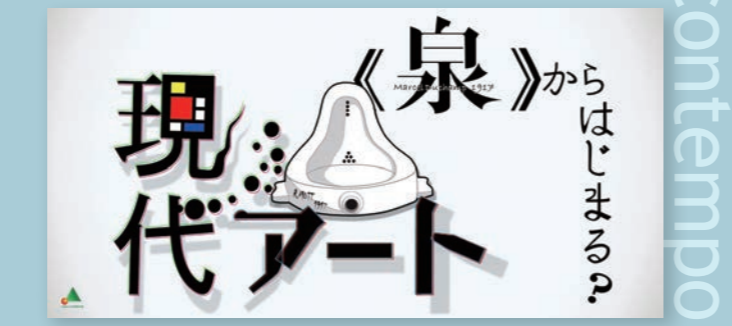
3F クリーンゾーン 『こどもへのまなざし』(～1/13)

3F エレベーターホール 『池波正太郎生誕100年記念展示』(1/4～2/19) NEW!

2023年は時代小説の大家・池波正太郎の生誕100年に当たります。本展示では『仕掛人・藤枝梅安』『鬼平犯科帳』などの代表作を紹介するコーナーや、エッセイやゆかりの店から人柄を偲ぶコーナー、ゆかりの人々からのメッセージも多数展示しています。ファンならずともお楽しみいただける展示です。

展示 PICK UP ブルーゾーン【アート・言語・文学】の本を集めたゾーン

3F 《泉》からはじまる？ 現代アート



「まなぶ」、「しる」、「であらう」といった、いくつかのカテゴリーにわけて、初心者の方から上級者の方までもが、現代アートに親しみ、楽しめるように本や図録を集めました。「スタッフおすすめ現代アート本」として、とくにおすすめする本をコメントとともに紹介しており、週に一度を目安に更新しています。

One Hundred Years of Fountain(s) When a Urinal Becomes Art

百年の《泉》……便器が芸術になるとき

会田誠展 ま、Still Aliveってこーゆーこと

- 『百年の《泉》——便器が芸術になるとき』
- 平芳 幸浩、京都国立近代美術館 編
 - LIXIL出版
 - 2018年
- 『会田誠展 ま、Still Aliveってこーゆーこと』
- 新潟県立近代美術館 編
 - 新潟県立近代美術館
 - 2015年

スタッフおすすめの現代アート本を解説とともに紹介しています。

主に図録から現代アートの作品を知ることができるコーナー。

▶▶▶入館の際は、手指消毒・検温、マスク着用のご協力をお願いします。

龍星閣がつないだ 夢二の心

「出版屋」から生まれた夢二ブームの原点

「令和四年度文化財企画展」

令和4年4月1日に新たに区指定文化財となった「龍星閣旧蔵竹久夢二コレクション」(千代田区所蔵)のお披露目を兼ねた企画展を開催します。このコレクションは、元々千代田区内にある出版社龍星閣が収集したものです。自らを「出版屋」と称した龍星閣社長の澤田伊四郎氏は、「埋もれたもの、独自のものを掘り出して世に送ることを」理念に夢二の作品集をまとめて次々と世に送り出しました。

「出版屋」から生まれた夢二ブームの原点。令和4年4月1日に新たに区指定文化財となった「龍星閣旧蔵竹久夢二コレクション」(千代田区所蔵)のお披露目を兼ねた企画展を開催します。このコレクションは、元々千代田区内にある出版社龍星閣が収集したものです。自らを「出版屋」と称した龍星閣社長の澤田伊四郎氏は、「埋もれたもの、独自のものを掘り出して世に送ることを」理念に夢二の作品集をまとめて次々と世に送り出しました。

2023年 1/7(土) ~ 2/28(火)

- ◎前期: 1月7日(土) ~ 1月29日(日)
- ◎後期: 1月30日(月) ~ 2月28日(火)
- ◎休館日: 1月16日(月)、2月20日(月)
- ◎開室時間: 月~木・土 10:00~19:00、金 10:00~20:00、日・祝 10:00~17:00
- ◎会場: 日比谷図書文化館1階 特別展示室 ◎観覧料: 無料
- ◎主催: 千代田区、千代田区教育委員会

学芸員による ギャラリートーク

- 日時: 1月13日(金) 18:30~、1月21日(土) 13:00~ 2月4日(土) 13:00~、2月10日(金) 18:30~ いずれも30分程度
- 定員: 先着20名 ●参加無料
- ※事前申込み不要です。直接、1階特別展示室へお越しください。



竹下夢二 たびの女、大正4年(1915)頃 竹下夢二 大椿(みなとや版、大正3-5年(1914-16)頃

calendar 開館時間: 平日10時~22時 ■ 土曜10時~19時 ■ 日祝10時~17時 ■ 休館日

2023年 1月							2023年 2月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	5	6	7	8	9	10	11
8	9	10	11	12	13	14	12	13	14	15	16	17	18
15	16	17	18	19	20	21	19	20	21	22	23	24	25
22	23	24	25	26	27	28	26	27	28				
29	30	31											

掲載されている内容について変更や中止となる場合があります。最新情報は、ホームページ等をご確認ください。

access

〔都営地下鉄〕

- 三田線「内幸町駅」A7出口 徒歩3分
- 丸ノ内線「日比谷駅」B2出口 徒歩3分

〔東京メトロ〕

- 丸ノ内線「日比谷駅」B2出口 徒歩3分
- 千代田線「霞ヶ関駅」C4出口 徒歩3分
- JR「新橋駅」徒歩10分

※当施設に駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用下さい。

1・2月の講座

〈参加申込〉電話(03-3502-3340)またはホームページにて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。各講座は事前申込み順です。定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

1/7
(土)

千代田区民講座 メジャーリーグにまなぶ 一必勝のビジネス成功術— 勝つための組織と人の活かし方

講師：タック川本(国際ビジネス&スポーツアナリスト)

2002年、創立42年目にしてワールドチャンピオンの快挙を成し遂げたロサンゼルス・エンゼルスフロントに在籍した実務家で、ビジネス&スポーツアナリストとして幅広く活動している経験を踏まえ、メジャーリーグの球団経営の実態を実例に、経営を革新させるための考え方と手法、企業を活性化させる人と組織についてお話しします。(主催:NPO法人 神田雑学大学、共催:日比谷図書文化館)

- 日時:1月7日(土)14:00~15:30(13:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:60名 ■参加費:無料

1/11
(水)

アートのある生活 ~マイアートの見つけ方、買い方

講師:山本 冬彦(アート・ソムリエ)

家で過ごす日々が増える今、改めてアートが注目を集めています。「アートをかう」という行為は決して敷居の高いものでなく、ビジネスとの共通点も多く、作家を支援することにもつながります。自分好みのアートの見つけ方、買い方を学び、身近にアートのある生活の一步を踏み出してみませんか。



- 日時:1月11日(水)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:40名 ■参加費:1000円

1/15
(日)他

日比谷オペラ塾 「オペラ・あ・ら・かると」(全3回)

2023年は、ヴェルディ生誕210年。そこで1月は、「名画が語るヴェルディ・オペラ」を、2月はプッチーニ・オペラのヒロインたちの魅力を、3月はダ・ポンテ三部作で有名なロレンツォ・ダ・ポンテについて解説します。

(主催:フェニーチェ劇場友の会 共催:日比谷図書文化館)

- 日時:
1月15日(日)14:00~15:30(13:30開場)
「名画が語るヴェルディ・オペラ」講師:加藤 浩子(音楽評論家)
2月19日(日)14:00~15:30(13:30開場)
「プッチーニのヒロインたち」講師:井内 美香(オペラ・キュレーター)
3月21日(火・祝)14:00~15:30(13:30開場)
「モーツァルトの親友ダ・ポンテ」講師:辻 昌宏(明治大学教授)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:各回60名 ■参加費:各回1500円

1/19
(木)

江戸歴史講座 第76回 疫病と「まじない絵」の世界

講師:畑中 章宏(民俗学者)

流行病(疫病)に対する恐怖は、まだ医学が発達していなかった時代にははかり知れないものでした。近世の日本で疱瘡や麻疹、コレラが蔓延すると、人々はまじないに頼るしかなかったのです。疫病除けの「疱瘡絵」や「はしか絵」に込められた、人々の苦心やユーモアを読み解いていきます。



「鎖西八郎為朝 疱瘡神」
(東京都立中央図書館 特別文庫室)

- 日時:1月19日(木)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■参加費:1000円(千代田区民 500円)

1/20
(金)

現代短歌はこんなにおもしろい

講師:東 直子(歌人、作家)

近年、ますます人気が高まっている短歌の世界に触れてみませんか。基本的な仕組みを踏まえて作品をご紹介します、現代短歌の魅力に迫ります。また、最近の若手歌人と現代短歌の動向や、講師自身が短歌と出会い、人生にどういった影響があったのかをお話しします。



- 日時:1月20日(金)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■参加費:1000円

1/25
(水)

池波正太郎生誕100年 「池波正太郎の思い出」

講師:菊池 夏樹(高松市・菊池寛記念館名誉館長、池波正太郎の若い友人K)

2023年は時代小説の大家・池波正太郎の生誕100年に当たります。本講演では代表作『鬼平犯科帳』シリーズを担当し、生前の池波正太郎と親交が深かった菊池夏樹氏が、作家・池波正太郎との思い出をお話しします。菊池氏だけが知っているとっておきの逸話など、初披露のお話しをご期待ください。



- 日時:1月25日(水)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■参加費:1000円

1/27
(金)

千代田区内ミュージアム連携企画 展覧会への入口講座 Vol.35 展覧会を先取り! 国芳門下の2大ライバル 「芳幾・芳年」の魅力に迫る!

講師:野口 玲一(三菱一号館美術館上席学芸員)

三菱一号館美術館にて2023年2月25日から4月9日に開催する「芳幾・芳年—国芳門下の2大ライバル」の見どころを、開幕に先駆けて担当学芸員の野口玲一が語ります。国芳門下の兄弟弟子として活躍した二人が、時代が明治に変わり、浮世絵衰退の時代をどのように生き、制作したのかを検証します。

- 日時:1月27日(金)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■参加費:1000円(千代田区民 500円)



2/17
(金)

一時をかけて、映画音楽の歴史の旅へ— タランティーノに渋谷系、 90年代サントラ事情を考える

講師:志田 一穂(ラジオDJ)

多彩なジャンルが出揃った80年代までの映画音楽は、90年代に入ると、さらに引用、リスペクト、コピー&ペーストと混乱を極めます。更にパソコンが普及、映像にはCG導入と、時代はインターネットとデジタルが主となり、映画や音楽にも多分に影響を及ぼしていきます。そんな世紀末のサントラ事情を今回も音楽と一緒にご案内していきます。



- 日時:2月17日(金)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名
- 参加費:1000円

2/24
(金)

戦争の記憶を消してはいけない! —吉村昭、井出孫六、井上ひさしの場合—

講師:山口 昭男(岩波書店元代表取締役社長)

戦争の記憶を消してはいけない。1945年の敗戦時、吉村は18歳、井出は13歳、井上は10歳だった。彼らは何を思い、何を後世の若者に残そうとしたのか。また戦後生まれの人間は、どのように戦争の記憶を伝えることができるのかを語る。



- 日時:2月24日(金)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名
- 参加費:1000円(学生500円)

※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。

INFORMATION 【千代田区立図書館全館休館のお知らせ】

千代田区立図書館は、図書館システムの更新を行うため、次の期間、全館休館するとともに、サービスを一時休止いたします。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

休館日:2023年3月1日(水)~3月12日(日)

※貸出施設の予約・利用ならびに日比谷カレッジの参加申込もご利用いただけません。その他の詳細については、千代田区立図書館ホームページをご確認ください。

From Chiyoda Public Library 【千代田区立図書館からのお知らせ】

この作品を書いたのは誰だ!?
**仮面をつけた
33人の
作家たち**

千代田区が舞台となる作品や千代田区にゆかりのある作家による作品などからクイズを出題! 展示する関連本などからクイズの答えを探し出してください。記念品もご用意しています!

- 会期:1月23日(月)~4月22日(土)
※2月26日(日)、3月1日(水)~12日(日)、26日(日)は休館
- 場所:千代田図書館9階 展示ウォール

【予告】特別研究室企画展示

特別研究室所蔵資料に見る 江戸・東京 行事と暮らし~春夏秋冬~

特別研究室所蔵の江戸・東京資料には年中行事や当時の風習、春夏秋冬の風景などが残されています。江戸から東京へと移り変わる中、一年を通した人々の暮らしの様子がわかる挿絵を展示し、時代とともに変化してきた行事の内容や風習の意味合いについても紹介します。



歌舞伎座新狂言「出初梯子乗之場」
香柳楼国貞画(東京消防庁江戸火消研究会 編著 /「江戸火消錦絵集」/ 岩崎美術社 / 1975年)

- 主な展示図書(予定)
『江戸名所図会』『風俗画報』『都の華』『東京百事流行案内』ほか
- 期間:2023年1月17日(火)~3月31日(金)
※休館日:2月20日(月)、3月1日(水)~12日(日)、3月20日(月)
- 開室時間:平日10:00~20:00、土曜10:00~18:00、日曜・祝日10:00~16:00
- 会場:4階特別研究室 ●入場無料

古文書塾でらこや体験講座 ◆各講座 1000円

古文書専門塾として、初心者から経験者まで楽しみながら学習を進めています。2月期の開講に合わせ、古文書の世界に無理なく入っていける「体験講座」をご用意いたしました。まずはお試しください。



	講座名	曜日・時間	実施日
入門コース 120分	古文書のいろは 筆字のくずし字	(月) 10:30~	1/23
		(月) 13:30~	1/23
		(火) 10:30~	1/31
		(木) 13:30~	1/26
		(金) 13:30~	1/20
		(金) 18:30~	1/20
本科コース 90分	いろはの次 一 大江戸大変 いろはの次 一 古文書いろいろ いろはの次 一 古文書いろいろ	(月) 18:30~	1/23
		(火) 10:30~	1/24
		(火) 13:30~	1/24
		(日) 13:30~	1/29
特別講座 90分	文人画と碑文—掛軸を読む 武家文書を読む—幕府崩壊事情 幕末・江戸庶民の世相を読む—「弘化雑記」の世界 くずし字で楽しむ江戸歌舞伎	(水) 13:30~	1/18
		(木) 10:30~	1/19
		(土) 13:00~	1/28
		(火) 19:00~	1/31
特設 月1回 コース	大久保利通の手紙を読む 開国ニッポンの外国人— 江戸を楽しむ—江戸の寺社あれこれ 江戸・明治の書状を読む—形式と内容、一歩から 京都上七軒、花街の座敷唄	(水) 13:30~	1/25
		(木) 18:30~	1/19
		(金) 18:30~	1/20
		(土) 10:30~	1/21
特設 月1回 コース	ハーバード大学蔵「源氏物語 須磨」を読む[異文を楽しむ講座] ハーバード大学蔵「源氏物語 須磨」を読む[翻字者育成講座]	(金) 11:00~	1/27
		(金) 14:00~	1/27

- 会場:4階スタジオプラス(小ホール)、セミナールーム(会議室)
- 定員:各講座23名(申込順) ■費用:各講座1000円
- 資料請求・体験講座のお問い合わせ:電話(03-3502-3340)日比谷図書文化館代表 古文書塾でらこや担当迄

